



「みらい型農業」の推進に向けて

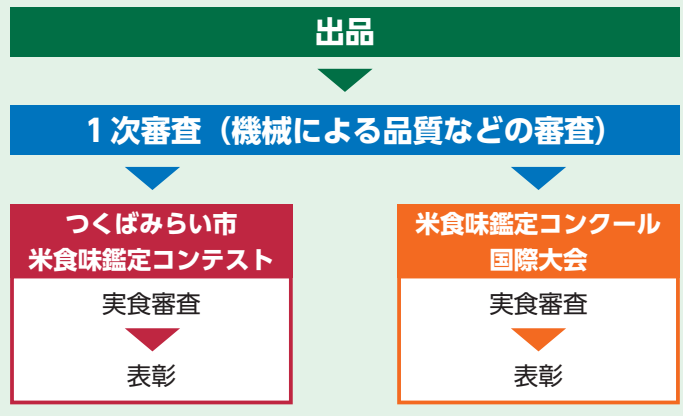
市では「みらい型農業」の取り組みとして、井関農機(株)や、(株)クボタの民間企業などと連携しています。先端技術の導入や農業経営支援、付加価値の創出などの多様なアプローチにより、市の農業ポテンシャルを活用しながら、次世代へ繋がる持続可能な農業を進めています。

米コンテスト開催予定

つくばみらい市のお米のブランド化を目指し、出品されたお米の品質を競う「つくばみらい市米・食味分析鑑定コンテスト」の実施を予定しています。このコンテストを通じて、市内産のおいしいお米をPRしていきます！

自分の作った米の味に自信のある方や、食味値を知りたい方など、ぜひ、参加してみてください。

※以下のコンテスト審査内容は案となります。



水位センサー

スマート農機で井関農機(株)と連携

井関農機(株)と連携し、可変施肥やGPS機能付き直進アシストシステムなどを搭載した田植え機を活用して、7件の実証圃場の田植えを実施し



(株)クボタによる操作説明会

農機シェアリングで(株)クボタと連携

(株)クボタと連携して行う事業の一つである「農機シェアリングサービス」は、トラクタなどの農業機械を1時間あたり2200円(燃料費・整備費用含む)で24時間いつでも利用できるものです。利用希望者はスマートフォンなどで仮登録を行い、その後、操作説明会を行うことで安心してご利用いただけます。

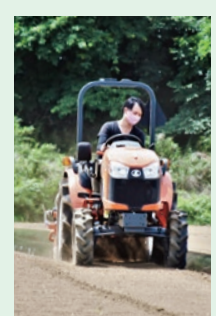
ました。

スマート農業の実践、検証をすることで、生産技術の向上やコストの低減、高品質な農産物の栽培方法の確立を図ることを目的としています。

今後は、水田高度水管理システム水位センサーによる水位情報の取得、人工衛星のセンシングによる水稻の生育状況の把握、および収量コンバインにより、圃場当りの収穫量を把握し、米の食味などの品質を測定する予定です。



自動運転で手放しでも安心！



利用風景

農業へ新規参入する際の課題(農地・機械・技術など)の改善に取り組むことで、農業参入者数の増加を促進し、かつ次世代へつなげる持続可能な農業の実現を図ります。

今後は、農地のマッチングや、新規就農研修制度の導入などを予定しています。